

奥尻高校寄宿舎整備事業に関するお知らせ

町では、北海道奥尻高等学校が生徒数の減少から統廃合の危機にあったため、平成28年度に北海道立高校から町立高校へと移管し、町の責任において高等学校を存続することといたしました。

また、今後も生徒数の減少が見込まれたことから、平成29年度から生徒の全国募集を実施し、現在多くの島留学生が地元子ども達とともに奥尻での充実した高校生活を送っているところです。

町民皆さまにおかれましては、奥尻での暮らしに不慣れな島留学生を温かくお迎え下さり心より御礼申し上げますとともに、今後も子ども達が健やかに成長されるよう地元子ども達と同様にご支援とご協力をお願いいたします。

このような中、町では平成31年度以降、奥尻高校へ進学を希望される島留学生を受け入れる宿舎（下宿先）が不足していることから、平成31年度以降の生徒受入れのため「寄宿舎」を建設し、平成31年3月の完成を目指しています。

寄宿舎の建設場所は青苗地区の「旧・緑が丘団地」跡地で現在着々と工事が進んでいるところです。

寄宿舎の建物規模や概要は、軽量鉄骨造2階建て延べ面積約506㎡となっており、20名の生徒が居住できる規模として建設し、島留学生の入学状況を踏まえ、次年度以降22部屋（約424㎡）を増築し、最終的に42名規模（約930㎡）の寄宿舎を整備する計画としています。

これに伴い、町では寄宿舎完成後の施設の安定的な管理・運営を実施するため、『**管理人**』や『**厨房スタッフ**』を**若干名募集する予定**です。

雇用形態や勤務条件等は現在検討中で募集内容が決まり次第、回覧等でお知らせする予定ですが、新しい働き場所として関心のある方は教育委員会事務局（☎2-3890）までお問い合わせ下さい。

奥尻高校の島留学生受入事業は、奥尻町の活性化や将来の発展にも繋がる重要な施策の一つと考えます。

町を挙げて島留学生を温かく迎え入れ、島の子ども達のため当該整備事業に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。



【奥尻高校寄宿舎の完成イメージ図】